

一般国道36号 白老西拡幅に係る新規事業採択時評価

1. 事業概要



図1 広域図

図2 事業位置図

- ・起終点: 北海道白老郡白老町萩野～北海道白老郡白老町竹浦
- ・延長等: 8.3km (第3種第2級、4車線、設計速度60km/h)
- ・全体事業費: 約165億円 ・計画交通量: 約16,400台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約11,500台/日	約1,400台/日	約3,500台/日

①路線概要

- ・一般国道36号は、北海道札幌市から北海道室蘭市に至る延長134kmの主要幹線道路。このうち、白老西拡幅は、北海道白老郡白老町萩野から北海道白老郡白老町竹浦に至る延長8.3kmの拡幅事業。

②事業目的

- ・当該区間を拡幅し交通量を確保することで、旅行速度の向上や交通混雑を緩和。
- ・観光時期に発生している交通渋滞を緩和し、主要観光ルートの定時性を確保することで、地域の観光振興やウポイ誘客促進戦略を支援。
- ・救急医療施設への迅速な搬送経路を確保し、救急医療活動を支援。

③事業実施に向けた検討状況

- ・白老西拡幅は、上位計画である第2次白老町都市計画マスタープラン(R3.9月)に位置づけ
- ・地域課題をふまえ、以下の政策目標を設定し、ルート構造を検討
 - ①交通容量確保による旅行速度の向上
 - ②安定した救急搬送ルートの確保による救急医療活動の支援
 - ③観光期の交通混雑緩和による円滑な周遊ルートの確保及びウポイ誘客促進戦略の支援

2. 評価結果

費用便益分析

■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

	B/C	(参考)※4	EIRR※1	総費用	総便益
4%	1.4	1.7	5.8%	128億円※2	173億円※2
[2%]※3	2.0	2.4			
[1%]※3	2.4	3.0			

※1: EIRR: 経済的内部収益率
※2: 基準年(令和6年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)
※3: 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率
※4: 参考として多様な便益を算出

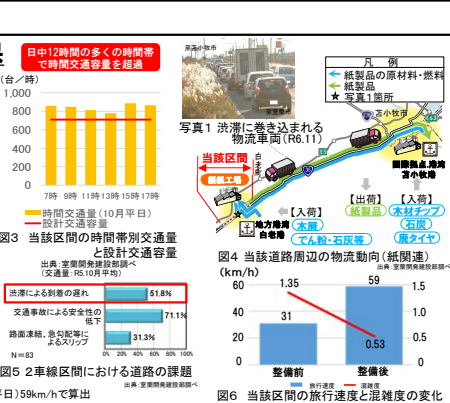
事業の影響

自動車や歩行者への影響

渋滞対策
(政策目標①)

経済成長・物流強化

ボトルネック対策による速達性の向上や定時性の確保
【課題】
・当該区間は2車線であり、前後の4車線区間より交通容量が低いことから、日中の多くの時間帯で交通容量不足が発生。
・また、道路を利用する物流事業者の半数以上が「渋滞による到着の遅れ」を感じており定時性に課題。
【効果】
・交通容量を確保することで、交通渋滞を緩和し、定時性を確保。
〔〇混雑度(平日)【現況】1.35
→【整備後】0.53(約6割減少)
〇平均旅行速度【現況】31km/h
→【整備後】59km/h(約28km/h向上)※〕
※【整備前】JETC2.0プローブデータ(R5.10平日)より算出。【整備後】隣接4車線区間のETC2.0プローブデータ(R5.10平日)59km/hで算出



事故対策

中央分離帯の整備により、正面衝突事故を抑制し死傷事故率減少による安全性の高いネットワークを構築。
〔〇事故危険区間【現況】4区間 →【整備後】0区間(4区間対策)〕

歩行空間

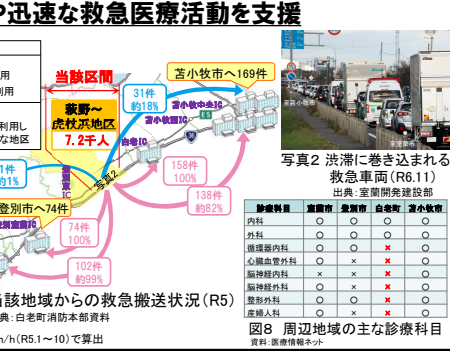
市街地に歩道を整備し安全かつ円滑な歩行空間を確保。

社会全体への影響

住民生活
(政策目標②)

地域安全確保のネットワーク

医療施設への速達性の向上による生活環境の改善や迅速な救急医療活動を支援
【課題】
・白老町では、循環器内科、脳神経外科、整形外科等の通院や救急搬送は町外の病院に依存しており、搬送経路である当該区間では、交通混雑による旅行速度が低下していることから、速達性の確保が課題。
【効果】
・白老町から第二次救急医療機関までの搬送時間が短縮され、地域の救急医療活動を支援。
〔〇白老町～二次救急医療機関(JCHO登別病院)への搬送時間【現況】34.5分 →【整備後】25.2分(約9分短縮)※〕
※【整備前】救急車プローブデータ(R5.1～10)より算出。【整備後】隣接4車線区間の救急車プローブデータ59km/h(R5.1～10)で算出



地域経済

速達性・定時性・安全性の高い物流ネットワークを構築し、物流の効率化や地域の産業振興を支援。

災害

樽前山噴火や千島海溝沿い地震時の避難経路を機能強化し、迅速な避難及び救援・物資輸送を支援。

環境

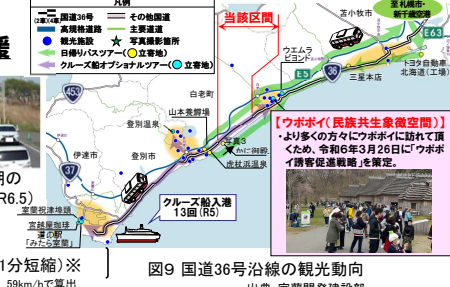
環境(CO2排出量)の改善(CO2排出削減便益: 1.0億円)

地域社会

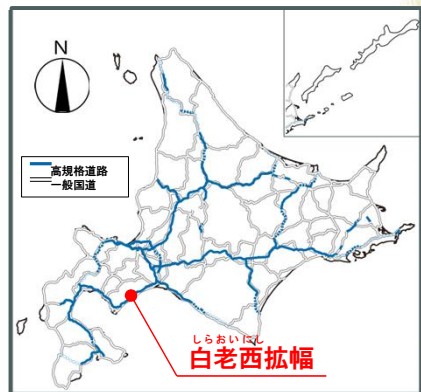
地域社会
(政策目標③)

経済成長・物流強化

観光期の渋滞緩和による、地域の観光振興、ウポイへの誘客促進を支援
【課題】
・ウポイや登別温泉等の文化・観光施設が多数立地する当該地域は、観光期の交通容量不足による旅行速度の低下が著しく、各文化・観光施設への円滑なアクセス性の確保が課題。
【効果】
・観光期の交通混雑を緩和し、地域の観光振興、ウポイへの誘客促進を支援。
〔〇ウポイ～登別温泉の所要時間【現況】50.3分 →【整備後】39.0分(約11分短縮)※〕
※【整備前】JETC2.0プローブデータ(R6.GW)より算出。【整備後】隣接4車線区間のETC2.0プローブデータ(R6.GW)59km/hで算出



一般国道36号 白老西拡幅に係る新規事業採択時評価

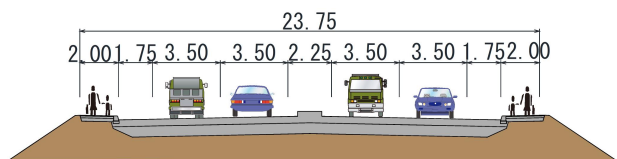


凡 例	
---	対象区間
----	高速道路（4車線）
----	一般国道
----	主要地方道
----	一般都道府県道
----	その他道路
----	橋梁構造
----	トンネル構造
●	主要渋滞箇所
★	事故危険区間
★	死亡事故発生箇所
交通量台/日	交通量（R3全国道路・街路交通情勢調査）
○	市街地（集落）
---	市町村境界線
----	車線数（2車線/4車線）

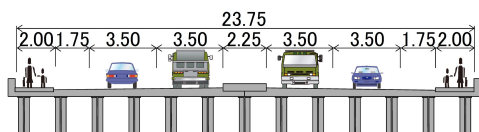
全体延長：8.3km
土工延長：8.1km(98%)
橋梁延長：0.2km(2%)

標準横断面図（単位:m）

（土工部）



（橋梁部）



計画縦断面図
（単位:m）

